

食育推進全国大会

6/22 ~ 23

広島市南区民センター、産業会館、
県立広島大学広島キャンパス

「おいしい広島、
たのしい日本～食育を科学しよう！」
手作りバター体験で酪農をPR
第八回食育推進全国大会in広島に
27,000 人来場



内閣府・広島県は、広島市南区民センター、産業会館、県立広島大学広島キャンパスの三会場で「第八回食育推進全国大会」を開催し、二日間で約二万七千四百人の来場者で賑わった。実行委員として参画した広酪も、県立広島大学広島キャンパスへブース出展し大会を盛り上げた。

出展内容は、「農業・漁業・酪農を知らう」をテーマに広島県漁業協同組合連合会（以下「県漁連」）、JA広島中央会、広酪の三団体が合同で出展し、県漁連は「魚の捌き方」（鯛・鰯の三枚おろしの実演と体験）、広酪は「手作りバター」、JA広島中央会は地産地消食材を使用した「手巻き寿司」と、それぞれの団体の特性を生かした体験型のブース展開を行った。

この他、県立広島大学広島キャンパスでは、「食育を科学しよう」のテーマに沿った様々な講演会やシンポジウム、パネルディスカッション等が行われた。

一方で、産業会館東館では、広島をはじめ、各地のB級グルメ等、『おいしい』食が約



(鯛の捌き方を実演する漁師さん)



(手作りバターの説明をする河内山主任〈右端〉と稲村主事〈左端〉)



(手巻き寿司体験の様子)



(乳牛の等身大パネルも大人気)

八十ブース出展され、多くの来場者で賑わった。大会は、内閣府と各都道府県持ち回りで開催され、次年度の開催県は長野県で六月二十一日(土)、二十二日(日)に開催される予定。